

自走可能なモビリティ・マネジメントの共創モデルづくり事業

人材育成

事業実施主体

【共創プラットフォーム名】自走可能なモビリティ・マネジメントの共創モデルづくり事業

【事業主体】一般社団法人交通環境まちづくりセンター

【共創パートナー】一般社団法人北海道開発技術センター

地域課題

- ① MMの担い手（コーディネーター）が不足している
- ② MMの実務者への負担（準備・調整・実施）が大きい
- ③ MMのサポートスキームの未確立（人材育成やツール管理等）

実証事業の内容

- ① MMコーディネーターの発掘・育成
 - ・行政職員／交通事業者／コンサルタント等を対象に設定
 - ・MMの企画能力・実務能力を育成するプログラムを実施
 - ・体験の場として「子供向けMMイベント」も開催
- ② MMサポートツールの開発・制作
 - ・実務者負担軽減に向けたツールを検討し開発・制作
 - ・製作したツールの評価や効果、運用方法の検討
 - 動画コンテンツ（動機付け情報等の出前講座用）
 - 教育コンテンツ（おでかけゲーム：紙版・WEB版）
 - MM事例整理及び情報更新（企画検討時の参考として）
- ③ MMサポートオフィスの設立・運用検討
 - ・MMの取組推進をサポートする組織の設立を検討

今後の展開

- ・MMサポートツールの全国展開
- ・MMサポートオフィスの運用開始による人材育成等の継続実施

事業実施地域・手順

実施フィールド：十勝管内全19市町村、札幌市・帯広市

- ① MMコーディネーターの発掘・育成
 - ・WGの開催（12月初旬／12月中旬／2月中旬）
 - ・研修プログラムの構築（～1月下旬）
 - ・体験イベントの開催（1月上旬）
 - ・研修プログラムの実施（2月上旬／2月中旬×2回）
- ② MMサポートツールの開発・制作
 - ・動画コンテンツ制作（12月～1月）
 - ・教育コンテンツ制作（12月～1月）
 - ・MM事例整理及び情報更新（12月～1月）
- ③ MMサポートオフィスの設立・運用検討
 - ・機能要件の検討（2月）
 - ・組織の受け皿検討・設立方法検討（2月）

事業スケジュール

